100th Anniversary Kawagoe City
時をつなぐ　未来をつむぐまち　川越

広報 かわごえ環境ネット

2022年3・4月号 No.184

川越のサクラの名所はたくさんありますが、ぜひ足を伸ばして郊外を訪れてみてください。1983年から1991年に工場跡地を区画整理して誕生した「川越ニューシティいせはら」もすでに分譲開始から30年が経ち、メイン通りであるおいせ橋通りのソメイヨシノも立派に成長しています。隣接する御伊勢塚公園や小畔川、小畔水鳥の郷公園の水と緑も一体となって、自然を満喫できます。

（2021.4.1 小瀬博之撮影）

かわごえ環境ネット

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

【特集】川越の生き物調査―5年間：2
【報告】2021年歳末まち美化活動：3
【コラム】「社会と環境について思うこと（18）」「自然を訪ねて（2）」：4
【予告】「春の里山 自然観察＆クリーン活動」5月1日開催：5
かわごえ環境ネットからのおしらせ：6
会員等からのおしらせ：7
イベントカレンダー（2022年3月1日～4月30日）：8

残したい川越の風景⑵「おいせ橋通りのソメイヨシノ」

川越の生き物調査―5 年間

1. 概略

川越にはいったいどんな動植物がどれくらいいるのか？　最近は外来種ばかりが目立つけれど、在来種はどうなっているのか？　生き物調査はこのような疑問から始まりました。2016 年 3 月に「第三次川越市環境基本計画」及び「川越市緑の基本計画」が策定され、その中に市民参加による生き物調査が位置づけられました。

かわごえ環境ネット自然環境部会は、2017 年から環境政策課と協働して生き物調査に取り組むことになりました。一般市民と自然環境部会と合わせて 20 数名の調査員で進めてきて、ここで 5 年間が経過しましたので、中間まとめとして 2021 年 10 月末までの調査について報告書を出すことになりました。データ数は動植物合わせて 21,000 件ほど、川越市のメッシュコード数 141 のうち、ほぼ全域をカバーできました。

分類ごとの報告数（表 1）を見ると植物が一番多く、次いで昆虫、野鳥と続きます。それ以外の魚類、爬虫類、両生類、哺乳類などは、出会う場所や季節が限られていたり、元々種類や個体数が少なかったりという難しさがあります。たまたま運よく（悪く？）ヘビに出くわしたとか、広い河原のやぶでひょっこりタヌキに出会ったなどの情報ですから、件数が少なくなります。

2. 植物

報告数は約 12,000 件、834 種でした。埼玉県の維管束植物種が 2,300 種ですのでその 36%にあたります。山や丘陵のない中でけっこうがんばったと言えるでしょう。報告件数 100 以上は表 2 のとおりです。絶滅危惧種は 50 種、科についてはキク科が 81 種でトップ、次いでイネ科、カヤツリグサ科と続きます。休耕田や道端、土手で繁茂している様子が浮かびます。

3. 昆虫

調査報告は 4,216 件でその種数は 366 種になり、内訳は 14 目、100 科の昆虫が報告されています（表 3）。川越市で観察された昆虫に対応する埼玉県に生息する昆虫は約 10,717 種です。川越市の調査結果が埼玉県の中でどの程度かを評価することは、市内での調査の妥当性を判断する基準と考えられます。種類数の少ない昆虫は、種類を網羅していると考えられます。観察を継続してきたチョウから見ると、埼玉県で見られる約 40%になっており、市内の環境を考えるとこの程度は必要ではないかと考えられます。

しかし、カメムシ目、チョウ（ガ）目、ハチ目、コウチュウ目、ハチ目は 5%以下の観察で、市内の生息や分布を知るためには今後の観察が必要となっています。この結果は、専門家でない市民が 5 年間で観察した生き物としては大きな成果だと思います。また、次へのステップになると期待します。

4. 付記

生き物調査の他の分野についても、オールカラーで 50 ページの報告書に詳しくまとめています。ぜひお手に取ってご覧ください。問い合わせは、環境政策課（Tel.049-224-5866）または自然環境部会会員まで。　（賀登環）

表 1　報告の分類

分類	川越市（5 年間）		埼玉県の記録種数と RD 種数	
	報告件数	種数	記録種数	RD 掲載種数
植物（維管束）	12,151	834	2,300	764
鳥類	3,920	126	313	101
昆虫	4,216	366	9,826	408
クモ	157	33	416	21
爬虫類	193	9	15	9
両生類	127	8	17	13
哺乳類	38	8	56	40
魚類・円口類	71	19	93	14
菌類（キノコ）	265	170		53
その他	85	19	563	102
合計	21,223	1,592	13,599	1,525

表 2　植物のランキング

順位	名前	報告件数
1	ヘクソカズラ	170
2	セイヨウタンポポ	154
3	オッタチカタバミ	148
4	ヤブガラシ	129
5	ツユクサ	120
6	ユウゲショウ	114
7	カタバミ	111
8	セイタカアワダチソウ	107
9	ハルジオン	106
10	ホトケノザ	104
11	コナラ	100

表 3　昆虫の目による種数

目名	科数	川越内の種数	埼玉県の種数	県との比較 %
カマキリ	1	6	6	100
ゴキブリ	2	3	4	75
ナナフシ	1	3	6	50
チョウ	5	56	139	40.3
（チョウ目ガ）	13	38	2,449	0.15
トンボ	7	25	93	26.9
バッタ	10	28	129	21.7
ハサミムシ	1	2	15	13.3
アミメカゲロウ	2	4	73	5.5
コウチュウ	26	128	3,562	3.6
ハチ	6	17	1,151	1.56
ハエ	7	12	1,921	0.62
シリアゲムシ	1	1	19	5.3
カメムシ	17	42	1,057	3.97
トビゲラ	1	1	93	1.1
合計	100	366	10,717	3.4

報告書の表紙

報告書の内容例

【報告】2021年歳末まち美化活動（2021年12月19日開催）

参加者の集合写真

2003年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動、19回目の2021年は12月19日（日）に実施しました。天気は快晴で風なしでした。

10時に本川越駅前交番前に集合しました。参加者は53名（昨年は関係者4名で開催）で、内訳は、かわごえ環境ネット会員11名、市民等18名、武州ガス・関係会社の社長と社員ご家族24名でした。

小瀬理事長の挨拶、集合写真の撮影（駅前交番のお巡りさんに撮影を依頼）、横山副理事長より『新訂版 川越の自然』発刊のご案内、神谷会員より『川越の建物 近代建築編』発刊のご案内、クリーン名人の渡辺利衛さんよりごみ収集の仕方とコースの説明の後、参加者は6コースに分かれクリーン活動を開始しました。

参加者は、まち美化活動のゼッケンを付け、空き缶・紙くず・たばこなどを拾いながら師走の市内中心部を回り、中央公民館で収集した「ごみ」を分別し解散しました。なお、会員カンパで購入した川越の銘菓をおみやげとしました。

ごみ拾いは、まち美化の効果とともに、歩行や屈伸を行うことにより、エクササイズ（exercise 英語で運動の意）の効果もあります。次回も奮って多くの方々のご参加を‼　　（菊地三生）

渡辺利衛さんより参加者に説明

横山副理事長とグループ

中央通りでごみ拾い

中央公民館で分別作業

ごみ分別後の成果

「川越の自然」の説明と販売

『新訂版 川越の自然』頒布中

かわごえ環境ネット設立20周年記念出版『新訂版 川越の自然ー雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねてー』が2021年2月27日に発行され、好評頒布中です。

お求めは川越市環境政策課窓口（川越市役所本庁舎5階）まで。時の鐘入口交差点の前にある「本の店 太陽堂」でも取り扱っています。

編集：かわごえ環境ネット「川越の自然」編集委員会
発行：かわごえ環境ネット
公益財団法人サイサン環境保全基金助成
判型：A5判 180ページ フルカラー
頒価：700円

【社会環境部会】社会と環境について思うこと（18）ナラ枯れと森づくり

ナラ枯れの進む平地林

緑の中を散策すると気持ちがよいです。私は時間があると（仮称）川越市森林公園計画地や飯能市の天覧山・多峯主山等の緑の森を散策します。ところが最近、ナラ枯れが原因の「倒木や落枝注意」の看板が見受けられ、散策の危険性が高まっているといいます。

私は7年前まで務めていた会社で、飯能の社有林の管理を10年間にわたり従事しておりました。

2014年8月、毎日散策とごみ拾いをしていただいているボランティアの方からナラ枯れの木がある、根本にフラスが落ちているとの連絡がありました。

埼玉県の担当部局に調査依頼をしたところ、カシノナガキクイムシではなくヨシブエナガキクイムシであり、問題はあまりないのではないかとの回答でした。県の担当の一人は、新潟県の群馬県との境あたりがナラ枯れでたいへんだったが、今は新たな木に更新され青々しているとの話があり、ナラの木の自然淘汰と理解しました。

昨年ごろから、（仮称）川越市森林公園計画地ではカシノナガキクイムシによるナラ枯れ多く発生し、対策作業が行われております。ナラ枯れにより景観が変わり、「倒木や落枝」の危険性が増しております。

黒田慶子教授の講演と内容の概要

2月2日午後に、三富地域農業振興協議会主催で「三富地域の平地林をナラ枯れから守るために」との演題で神戸大学農学部黒田慶子教授のお話がオンライン形式でありました。

「本来の里山は人が管理する若い林」で農用林として管理されてきたが、林が1950年代のエネルギー革命で薪が石油に代わり、落ち葉（堆肥）が化学肥料に代わり、コナラ・クヌギの萌芽更新が行われず、高齢化・大径化した弱った木にカシノナガキクイムシが入り込み、一緒に病原菌が持ち込まれ、木を枯らす。ナラ枯れ対策のポイントは、萌芽更新か樹種の転換を図り、育った樹木を販売し土地所有者に経済的利益をもたらすようにすること。

以上の内容でしたが、森林管理の業務を行っていた立場から見るとたいへん参考になる話でした。

おわりに

1960年ごろまでは、山持ちは大変裕福でしたが、今は、山は山持ちにとって負担となっております。森林は、災害防止、環境、健康等の多くの重要な機能を担っており、財政難の折りですが、公共事業として持続的な保全の推進を望むものです。　（菊地三生）

飯能市大字飯能　大径化したコナラ林と谷津田

（仮称）川越市森林公園計画地

2014年8月　カシノナガキクイムシの調査

【自然環境部会】自然を訪ねて（2）クモを探してみませんか？

網を張らないクモ

林の手入れをしていたらサッと眼の前を黄土色の物が走った。「イオウイロハシリグモ。網を張らずに獲物を捕らえるのですよ。」そんなクモがいるのか？と驚いたが、クモの半分の種が網を張らないと知った。徘徊して獲物を捕る仲間には透明な黄緑色で夕方花や草の上で前脚を広げ獲物を待つワカバグモ、サングラスをかけたような顔で花の中や葉裏に潜み擬態もするアヅチグモ、前中眼がヘッドライトのように大きく目がよく見えサッと逃げる白い眉のような毛があるマミジロハエトリ、コグモを背中に載せ水辺にいるキクヅキコモリグモ等がいる。ジグモやワスレナグモ（準絶滅危惧種）は目立たぬように地中に潜み獲物を引きずり込む。

網を張るクモ

8本脚で、体は頭胸部と腹部のクモは、樹間から地中までさまざまなところで見つかる。網を張るクモの白帯もバラエティに富む。縦にジグザグのリボン状のナガコガネグモ、X字型のコガタコガネグモ、中央にごみを並べるギンメッキゴミグモ、渦巻き状のウズグモ、ロート型の薄い膜を張るクサグモ等、それぞれ工夫を凝らしている。クモの美しさに魅せられることもある。鮮やかな橙色でカニの甲羅のように美しく大きなイシサワオニグモは、葉を折り曲げて潜む。ウロコアシナガグモの幼体は、ツバキの葉の上で緑色に輝く。

「クモは神様」

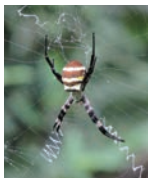
祖母に「クモは神様だから殺しちゃ駄目だよ」と言われ、芥川の「蜘蛛の糸」を読んで天国に行きたいと思っていた私は、部屋に来たクモはそっと外に逃した。庭にジョロウグモが巣を作っても取り払わない。ジョロウグモの立体形の大きな巣は陽を受けて金色に輝く。その強度はナガコガネグモの2倍もあるらしい。巣の主人は薄黄緑色に赤い紋の鮮やかな大きなメスだ。3分の1位の小さなオスは交尾しようと近づくも、振動に反応したメスにエサと間違えられて食べられてしまうこともあると言う。巣には偶にエサのおこぼれにあずかろうとイソウロウグモがいることもある。なお、巣に刺し身をかけてみたが食べなかった。

クモのバルーニング（雪迎え）

クモは一腹の卵嚢を糸で包みその中で孵化し、脱皮したコグモはしばらくその周囲に集まって過ごし（まどい＝団居）その後散り散りになる。何年も前になるが、初冬のある日、枯草の端からコグモが宙に浮くのを見て、どこまで行くのだろう？無事に生きていけるようなところに着地すればよいな、と思ったことがある。バルーニング（雪迎え）と言い、俳句の季語になっていると知った。そういえば子どものころ、川原近くの草原が一面クモの糸で光っていたのをみたが、あれも雪迎えだったのかも知れない。あの光景はどこに行けば見られるのだろうか？もう一度見たいな。今もハナミズキの枝にかかり枯葉を北風に揺らしているジョロウグモの糸を見ながらそんなことを思った。（藍谷理恵子）

イオウイロハシリグモ

ワカバグモ



コガネグモと隠れ帯

【予告】春の里山 自然観察 & クリーン活動（5月1日 日曜日開催）

かわごえ環境ネットは、春夏秋冬の年に4回のクリーン活動をしてまいりました。2022年度 最初の春のクリーン活動を行います。

活動場所は（仮称）川越市森林公園計画地です。この場所は、あまり市民に知られていない、生物多様性に富む貴重な里山です。

新緑の春の里山で、自然観察とクリーン活動を行います。多くの方の参加をお待ちしています。

実施概要

日時：5月1日（日）9:30-12:00
集合場所：川越南文化会館（ジョイフル）エントランス前
募集人員：先着30名

参加申込

4月1日（金）9:00より川越市環境部環境政策課まで（Tel.049-224-5866）

2021年の自然観察 & クリーン活動の様子

会員向け情報（理事立候補者募集、会費納入のお願い、総会開催）

これらの情報の一部は、これまで年度始め年度の4月にご案内していましたが、広報の隔月刊化に伴い郵送も隔月となったため、早めにおしらせします。

2022～2024 理事立候補者募集

2022（令和4）年度は本会役員改選の年です。かわごえ環境ネットの将来を考え、運営に携わる理事への立候補者を募集します。

任期は2022年度総会開催日から2024年度総会開催日までの2年間で、個人会員と団体会員（事業所、民間団体及び行政）から募集します。

立候補される方は、3月の郵送資料に同封されている「かわごえ環境ネット理事立候補申込用紙」に必要事項を記入し、4月8日（金）必着でかわごえ環境ネット事務局にご提出ください。

詳しくは、郵送資料同封のお知らせをご覧いただくか、事務局にお問い合わせください。

2022 年度会費納入のお願い

2022年度会費の納入をお願いします。年会費は、個人会員1,000円、団体会員（民間団体、事業所、川越市）は2,000円です。

5月27日（金）までにゆうちょ銀行の口座に振込をお願いいたします［口座番号 00180-2-13880（ゆうちょ銀行以外から振り込む場合は、ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座 0013880），加入者名：かわごえ環境ネット］。振込方法によって手数料がかかります。

2022 年度総会開催

2022年度総会を5月28日（土）に開催します。

開催時間と場所については、別途書面でご案内いたします。出欠連絡用はがき、「2022年度総会議案書」と合わせて、5月の郵送資料に同封する予定です。会員向けメールサービス希望者には添付ファイルで送付します。

理事会・事業運営委員会

報告

1月19日（水）9:00-11:30 第10回理事会・第10回事業運営委員会開催
①2月26日開催の「第20回かわごえ環境フォーラム」は、次回理事会（2月16日）に開催の可否、開催方法等を決定。環境活動報告集の構成・見積の確認。
②新年度の事業計画については、次回理事会までに素案を準備
③2022年度会費請求書類は広報紙3・4月号に同封
④2022年度総会の開催予定日は5月28日（土）に。開催通知等を広報紙に同封。
⑤新年度総会で役員の任期が満了になるので、理事立候補者募集の案内を広報紙3・4月号に同封
⑥個人会員1名入会、1名退会により、同日現在の会員数は個人142、民間団体23、事業者25、行政1の合計191
（理事長 小瀬博之）

予告

◆事業運営委員会 日時：3月16日・4月13日（水）9:00-10:00 場所：福田ビル3階会議室*注（川越市郭町1-2-3）
◆理事会 日時：3月16日・4月13日（水）10:00-11:30 場所：福田ビル3階会議室*注

社会環境部会

報告

1月14日（金）13:00-15:00に福田ビル3階で社会環境部会の例会を開催。参加者は8名。

協議事項

・「歳末まち美化活動」（12月19日）の実施報告
・「北公民館まつり」（4月9日）への出展の検討
・「脱炭素社会に向けて私たちにできること」の冊子作成に向けた意見交換
・2022年の広報紙における社会環境部会の担当コラムに関する担当決め
・社会環境調査「川越市の農業に関するアンケート」の回答状況の報告
・今後のかわごえ環境ネット主催のイベント等についての情報共有
（社会環境部会代表 増田知久）

予告

●社会環境部会（毎月第2金曜日開催）
日時：3月11日・4月8日（金）13:00-15:00 場所：福田ビル3階会議室*注
＊会員は予約なしで参加可

自然環境部会

報告

1月例会は14日（金）福田ビル3階にて8名の参加で開催

1. 活動報告

①「（仮称）川越市森林公園」計画地定例活動1月24日（月）22名参加 オドリコソウ群落エリアの手入れ
② 池辺公園定例活動2月8日（火）浅羽ビオトープに自然観察に行く
③ 生き物調査小委員会1月17日（月）福原公民館10名参加

2. 協議事項

① 生き物調査は1月いっぱいで編集し、印刷業者に出す。オールカラーで50ページ、かわごえ環境フォーラムで発表。
②来年度の事業計画について話し合い
②ナラ枯れについて今年度対策をしたが被害木は増えている。今後の取組について意見交換。
（自然環境部会代表 賀登環）

予告

★「（仮称）川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動（毎月第2・第4月曜日）
日時：3月14・28日、4月11・25日・5月9・23日（月）9:30-12:30 集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福1295-2）問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）
★池辺公園定例活動（毎月第2火曜日）
日時：3月8日・4月12日・5月10日（火）9:00-12:00 場所：池辺公園（川越市池辺1302）問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）
●自然環境部会（毎月第2金曜日）
日時：3月11日・4月8日（金）15:00-17:00 場所：福田ビル3階会議室*注
＊会員は予約なしで参加可

広報委員会

募集

1. 報告・予告・おしらせの原稿

2022年5・6月号（No.185, 5月1日発行）の原稿は、4月8日（金）が提出期限です。原稿（テキストデータ、図表）と写真等の画像（解像度の高い元データ）は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）に送付ください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は広報委員会メール（koho@kawagoekankyo.net）に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎5階）に提出ください。

2. 表紙写真「残したい川越の風景」募集

写真（広報発行の時期に合った縦構図の高解像度写真）、200字以内の短文、タイトルを4月8日（金）まで広報委員会メールアドレスまで送付ください。広報委員会で掲載投稿を決定します。選外の投稿は「note」に掲載できます。

3. かわごえ環境ネット「ホームページ」「note」への投稿

会員であれば随時対応します。広報委員会メールまで問い合わせ・提出をお願いします。

予告

◆広報委員会 日時：3月2日・4月6日・5月11日（水）9:00-9:30 場所：オンラインミーティング（アクセス方法は委員に別途案内）（広報委員長 小瀬博之）

＊注　4月以降の会議室は未定です。

かわごえ環境ネット会員募集

かわごえ環境ネットでは、個人会員、団体会員を随時募集しています。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です。ぜひご入会ください。

会員特典

①本紙「広報かわごえ環境ネット」や各種おしらせを郵送・電子メールでお届け
②本紙及び本会インターネットへの記事の掲載、チラシの同封
③本会主催の事業への優先参加
④総会、専門委員会活動への参加

詳細

かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課）に問い合わせるかWebサイト（https://kawagoekankyo.net）をご覧ください。

行事に関する重要なおしらせ

新型コロナウイルスの感染状況等により、かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、本会ホームページ（https://kawagoekankyo.net）でお伝えします。会員等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

増田純一（E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623）

ご案内

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米作りをしながら田園風景の保全や田んぼ文化の継承、地域づくりを行っています。

今年は 3 月 5 日から無農薬田んぼでのお米づくりを始めます。お米づくりを学ぶ絶好のチャンスです。みんなでいっしょに農作業に汗を流し、お米づくりを一から学んでみませんか！

おしらせ

4 月下旬から 5 月の連休にかけて、田んぼにはストロベリーキャンドルやレンゲの花が一斉に咲きほこります。ご家族や友人をお誘いの上、見学やピクニックにお出かけください。時期：4 月 29 日ごろ～ 5 月 5 日ごろ 場所：川越市福田 310 近辺の田んぼ 参加費：無料（どなたでも田んぼに出入り自由です。お花も自由に摘むことができます。）

Facebook https://www.facebook.com/kawagoesatoyama

HP http://kawagoesatoyama.ciao.jp/

川越フォレストクラブ

賀登環（Tel.049-234-9366）

報告

1 月 12 日、今年初めての活動日です。前日は雨でしたが当日は冬晴れで、16 名が集まりました。前もって残すべき木々にはピンクのリボンを掛け、わかりやすくしてあります。その中を、木を切る人、下草を刈る人、それらを運ぶ人に分かれ、広域を整理。木を切るにも、草を刈るにも運ぶにもテクニックがいると知りました。

疲れたな～と思うころ、まだ 30 分しか経ってないことにビックリ！ 1 時間以上、木を運んだと思ったのに。早めの休憩をとり、またひと踏ん張り。前日の雨のおかげで、木くずやほこりが舞わなくて助かりました。無心で体を動かすのは楽しいのですが、翌日は筋肉痛が…。次回が楽しみです。

ここのエリアはフォレストクラブにとって 2 か所目です。「森のさんぽ道」を南に進んでいくと市民農園がある場所に突き当たりますが、その手前の両側のエリアです。6 年ほど前、飯能の農林振興センターが業者に依頼し、一度手入れされましたが、またシラカシ、ヒサカキなど照葉樹が旺盛になってきています。ここは林内でも少なくなったリョウブ、エゴノキなどがあり、シュンランはじめ絶滅危惧種も生息していてザーッと刈り取るわけにはいきません。林床をていねいに手入れする中で新たな発見もありました。（佐藤千津子、賀登環）

（左）さんぽ道の上に掛かっていた枝を処理
（右）すっきりとした斜面の上で

予告

◎「（仮称）川越市森林公園」計画地雑木林の手入れ 3 月 9 日･5 月 11 日（水）8:30-12:00 集合：川越南文化会館（ジョイフル）動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した手入れを実施。奇数月の第 2 水曜日が活動日。

こもれびの森・里山支援隊（東洋大学小瀬研究室）

小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）, https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/

報告

2021 年 12 月 18 日に非公開で活動を再開し、構成員によりこもれびの森の現状把握を行ったのですが、新型コロナウイルス感染拡大により規制がかかって再度活動休止となりました。残念です。

12 月 18 日の参加者集合写真と林内の視察

公益財団法人埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

予告

◎伊佐沼でバードウオッチング（毎月第 2 日曜日、雨天中止）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや，持ち物：筆記用具･図鑑･双眼鏡･飲み物，参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

① 3 月 13 日（日） 10:00-12:00 北へ帰る冬鳥たちの最後の姿を、みんなで観察します。

② 4 月 10 日（日） 10:00-12:00 水をたたえた沼に桜の花びらが舞い降ります。暖かな陽を浴びて、カイツブリ、コチドリの声を聞き、春を感じましょう。

個人会員からのおしらせ

松岡壽賀子さん（社会環境部会）

高階南公民館（Tel.049-245-3581）

予告

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」会場：高階南公民館 1 階会議室 1 号（川越市藤原町 23-7），参加費：無料

① 3 月はお休み、② 4 月 20 日（水）13:30-15:30「電気料金」，持ち物：直近 2 ～ 3 か月分の電気・ガス・水道の料金票

かんきょうサロンでは、参加された方みなさんと環境や暮らし方、家族の健康について井戸端会議のようにお話ししています。1 人でも多くの人が動いたら、減災・防災につながります。

原村政樹監督

CAMPFIRE（https://camp-fire.jp）

ご本人からのメッセージ

会員の原村政樹です。東秩父村を舞台にした映画「若者は山里をめざす」が今年 5 月に完成します。テーマは「競争社会から共生社会へ」。山里に移り住んだ 3 人の若者と彼らを支える村人たちを 3 年間追いました。都会で悩み、苦しんでいる若者たちに、山里の暮らしの魅力を伝えるとともに、山村の再生への可能性を伝えました。クラウドファウンディングを始めました（4 月 15 日まで）。キャンプファイヤー「若者は山里をめざす」で検索してみてください。

6-8 ページの記号凡例 ★：本会主催・後援等一般公開行事 ●：本会会員対象行事 ◆：本会理事･委員対象会合 ◎：本会会員等主催のイベント等 ○：その他（個別記事参照）

2022 年 3 月

1	火	
2	水	◆ 9:00 広報委員会
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	★ 9:00 池辺公園保全活動
9	水	◎ 8:30「(仮称) 川越市森林公園」計画地雑木林の手入れ
10	木	
11	金	● 13:00 社会環境部会 ● 15:00 自然環境部会
12	土	
13	日	◎ 10:00 伊佐沼でバードウォッチング
14	月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
15	火	
16	水	◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
29	火	
30	水	
31	木	

2022 年 4 月

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	◆ 9:00 広報委員会
7	木	
8	金	● 13:00 社会環境部会 ● 15:00 自然環境部会 ○ 本紙 5・6 月号原稿投稿期限 ○ 理事立候補期限
9	土	
10	日	◎ 10:00 伊佐沼でバードウォッチング
11	月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
12	火	★ 9:00 池辺公園保全活動
13	水	◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
14	木	
15	金	◎ 原村政樹監督クラウドファンディング最終日
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	◎ 13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	昭和の日 ◎ かわごえ里山ストロベリーキャンドル見学・ピクニック (4 月 29 日ごろ～ 5 月 5 日ごろ)
30	土	

かわごえ環境ネットインターネットアクセス (QR コード)

ホームページ　Twitter　Facebook

Instagram　YouTube　note

会員のインターネットアクセス (QR コード)

かわごえ里山イニシアチブ　原村政樹監督クラウドファンディング

川越市「市民活動団体オンラインミーティング」動画公開

「環境 (SDGs) カテゴリー」のミーティングで、かわごえ環境ネット理事長の小瀬、NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ代表理事の増田純一さん、福原ファームクラブ事務局の横山三枝子さんの 3 名がオンライン上で鼎談を行いました。動画はYouTube川越市チャンネル (QR コード) でご覧いただけます。

おことわり　本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

広報 かわごえ環境ネット
2022 年 3・4 月号
No.184

発行日：2022 年 3 月 1 日　編集・発行：かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局：川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1
Tel.049-224-5866 (直通), Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ https://kawagoekankyo.net